



学校名 熊谷市立江南南小学校

校長名 白石 正幸

一 本校の沿革

本校は、明治十九年（一八八六年）に開校し、今年で百三十九年目を迎える歴史と伝統のある学校である。豊かな自然環境の中で、「夢と志をはぐくむ学校」を合い言葉に、全職員が一丸となつて「知・徳・体」のバランスのとれた児童の育成に取り組んでいる。

平成十九年に市制施行により、熊谷市立江南南小学校と改称する。平成二十八年に埼玉県学校環境緑化コンクール優秀校を受賞する。

初代校長の小林倭子先生は後に初代埼玉県教育委員長を務められた方で、「できることからやる」「小さな出来事を粗末に扱わない」という信念で、本校教育の基礎を築いた。

二 校章・校歌制定に係るエピソード
1 校章

① 制定年 不明

② デザインの意図

花びら — 江南南小の桜の花

花びらの中 — 片仮名のミ

花びらの間 — 片仮名のナ

2 校歌

① 制定年 昭和五十三年

② 特徴など

作詞 岡部 正次 氏

（江南幼稚園園長）

作曲 成沢 潤蔵 氏

（埼玉師範学校教諭）

七・五調の歌詞。作詞案は、岡部氏より四つ提出されている。「昭和五十二年度以降学校沿革誌(三)」には、「制定委員会より決定」、「岡部 正次先生の努力により制定できた」と記載がある。

江南南小学校校歌 楽譜

さくらふぶきのまうーあした

とおーくちぶのやまなみを

まつうのみどりやちるもみじ

あぞむたのしいわがほこり



江南南小キャラクター
ほたなん

本校の前身である小原小学校校歌は埼玉県師範学校教諭成沢潤蔵氏の作詞作曲により明治の終わり頃から長く歌われた。
校名の変更と同時に校歌はうたわれなくなつたが昭和五十三年三月二十日、当時村の有志と学校側の協力の結果、旧校歌の曲をいかして歌詞に選定されたものである。

江南南小学校校歌

江南幼稚園長岡部浩作詞
埼玉師範学校教諭成沢潤蔵作曲

一 桜ふぶきの舞うあした
松のみどりや散るもみじ
遠く秩父の山なみを
望むたのしいわが母校

二 朝夕顔を あわせては
心をみがき 身をまたえ
強く明るくのびていく
ちからあふれるわが母校

三 輝く伝統 うけついで
今日より明日へ限りなく
育てあげようよい郷土
たゆまず進むわが母校